



平成 30 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋  
( JASDAQ・コード番号 : 2777 )  
問合せ先 取締役 執行役員管理本部長 小林 要介  
電 話 03 - 6439 - 1360

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成29年2月10日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 1 月 1 日 ~ 平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	550	500	270	71.16
今回発表予想 (B)	11,642	571	583	423	111.71
増減額 (B) - (A)	858	21	83	153	
増減率 (%)	6.9	3.8	16.6	56.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	10,107	465	466	43	11.58

修正の理由

#### 1. 売上高

カッシーナ・イクスシーの首都圏におけるハウジングメーカー、デベロッパー向けの売上及び大阪エリアでの売上が予想を下回る見込みであること、および連結子会社であるコンランショップ・ジャパンの基幹店舗（新宿本店、丸の内店）の売上が予想を下回る見込みであることにより、売上高の前回発表予想を修正致します。

#### 2. 営業利益

連結子会社であるコンランショップ・ジャパンが売上高、粗利率ともに予想を下回る見込みであり営業損失が発生しますが、一方で連結子会社であるエスエムダブリュ・ジャパンの粗利率が予想よりも高く推移し営業利益が上振れしたことで相殺され、営業利益はほぼ前回発表予想と同じ水準になる見込みです。

3. 経常利益

カッシーナ・イクスシーの営業外損益が、為替差益の発生により予想よりも好転することで、経常利益は前回発表予想を若干上回る見込みです。

4. 親会社株主に帰属する当期純利益

カッシーナ・イクスシーにおいて投資有価証券売却益が発生し、また連結子会社であるコンランショップ・ジャパンにおいて負ののれん発生益が発生しましたが、前回発表予想に織り込んでいなかったこと、一方固定資産除却損が予想金額を大きく下回ったことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を大きく上回る見込みです。

5. 配当の予想

平成 29 年 12 月期の期末配当金の予想（1 株当たり 30 円）につきましては変更ありません。

その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上